



▲友達とじゃがいもの大きさを比べる子どもたち

じゃがいも掘り体験 今日のご飯はじゃがいも料理

「じゃがいも掘り体験」が、あんずの里近くの畑で6月16日に行われました。毎年大好評のイベントで、今年も用意していた100区画がすぐに予約で埋まってしまいました。

親子連れの参加者が多く、子どもたちが一生懸命じゃがいもを掘ったり、畑から駐車場まで袋やバケツを抱えながら、満足気にじゃがいもを運んだりする姿が印象的でした。

また「今日の夕飯はカレーにしよう」などと、じゃがいもを使うメニューについて、笑顔で会話する様子が見られました。



▲数人がかりで飾りつけが行われました

津屋崎祇園山笠復活50周年記念展示 華やかな飾りを目の前で

津屋崎祇園山笠復活50周年特別イベントとして、6月1日にイオンモール福津で山笠飾りつけの実演が行われました。津屋崎祇園山笠は博多祇園山笠と深いつながりがあり、300年以上前に櫛田神社から波折神社に祇園の神様を迎え、病気や災害の退散祈願をしたのが始まりといわれています。

筑前津屋崎人形巧房の人形師が、丹精込めた手作りの山笠はとても見事で、買い物客が足を止めて、作業を見つめていました。当日は山笠にちなんだ缶バッジプレゼントもあり、用意していた200個があっという間になくなるほど好評でした。

令和6年度 消防団・消防署合同水防訓練 大雨に対する万全の備えを

暴風雨などによる大災害に備え、消防団員および消防署員が連携を密にし、迅速かつ的確な防災活動ができるよう、6月9日に「消防団・消防署合同水防訓練」を実施しました。

大雨洪水警報が発表され、日蔭野地区において西郷川が氾濫し、被害が発生したという想定で「土のう作成訓練」「積み土のう工法訓練」「シート張り工法訓練」「応急手当訓練」を行いました。

例年発生する集中豪雨に備えようと、消防団員および消防署員は危機感を持って訓練に取り組んでいました。



▲呼吸を合わせて作成した土のうを積み上げていく消防団員

水上オートバイ贈呈式 海をもっと安全で身近に

シーバードジャパンは、水上オートバイを用いた社会貢献を目指す団体に、水上オートバイを提供する活動を行っています。福津・宗像市の小学5年生を対象にした海洋体験授業などを実施している「シーバードむなかた」のこれまでの実績が認められ、シーバードジャパンから水上オートバイが贈呈されました。これに伴って、5月28日に勝浦浜海洋スポーツセンターで贈呈式が行われました。今後、イベント時の洋上警戒や市民参加のマリン体験プログラムなどが行われる際に、この水上オートバイが活用されます。



▲贈呈された水上オートバイとシーバードジャパンの皆さん



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を市子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限ります。データの持ち込みは受け付けられません。

毎月先着24人で、10月生まれの赤ちゃんは8月20日(火)が受付期限です。
受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとびあ) ☎0940・35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日
▶写真申込フォーム



子育て応援シンポジウム 子育てについて考えるきっかけに

宗像医師会が保育園や幼稚園の先生と協力して、子育て応援シンポジウムを5月26日に宗像地域医療センターで行いました。福津市と宗像市の子育て支援に関する施策の発表や幼稚園園長や保育士、大学教員など子育ての専門家が講師となって、子育てに関する講演やディスカッションが行われました。



▲参加者からの質問などに対して討論するパネリスト

富名腰盛さんが市長を表敬訪問 小学生空手家日本一を目指す

第42回福岡県少年少女空手道選手権大会準優勝者の富名腰盛さんが、6月21日に市長を表敬訪問しました。「宗像空手道教室福間」に所属し、福間南小4年生の富名腰さん。県大会の結果報告と8月9日の全国大会に向けて「日本一の空手家になりたい」と力強く意気込みを話してくれました。



▲メダルを首に掛ける富名腰さんと空手道教室の指導者、両親